

生まれて初めてラーメンを旨いと思いましたよ

ゆ す ら
山 桜 桃

<http://www.yusura.net/>

By ふちんかん



鍵っ子で家に帰ると誰もいない、腹が減ったらカップラーメンかチキンラーメン、という子供時代を過ごしたせいでしょうか、どうもラーメンというのは腹を満たすものであって、味わうものではないというイメージ^{マダムヤン}があったんですよ。

その後、高校生の頃、中華三昧や揚夫人など高級袋麺が発売されたときは、「ああラーメンっておいしいなあ」とちょっと思ったものですが、それでも外で金を払って食べるものではないなあと思っていたですよ。

もちろん社会人になって外食の機会も増え、ラーメンを食べることも増えたわけですが、旨いと思ったことはなかったですよ。天下一品（特にこってり）などは好きなんですけど、辛子味噌もガンガン入れたりしますけど、あれは美食欲とはちょっとベクトルの違う欲求を満たすって感じがしますな（王将の餃子もそうですね）。

TV で行列のできるラーメン店ってなもんを見ても、「たかがラーメンに並んで急かされて高い金払うなんてアホちゃうか」って思っていましたよ。

それがですよ、このあいだ生まれて初めてラーメンが旨いと思ったんですよ。このラーメンなら金を出してもいいなと思ったんですよ。ちょっとくらいなら行列に並ぶのもいいかなと思ったですよ。山奥から高速とばして食べにきてもいいかなと思ったんですよ。実際、取材に行った後、三日も待てずに家族を引き連れて行ったですよ。

そのお店が「山桜桃」なんです。

いやぁ正直ね、今回の取材で飲み食い系3店（ラーメン、ハンバーガー、ビール）のうち、一番期待していなかったのがラーメンだったんです。まあ千里中華街のようにテーマパークが廃れていく経過を知るのもいいかなと。そんな斜に構えていたですよ。めんだらけに入って博多ラーメン「しばらく」で行列の先頭に立ったときも「並んでまで食えるか!」って内心思っていたですよ。だから空いている店でいいや、と。とりあえず小腹を満たして次の巨大ハンバーガーに期待しようと。ビールも楽しみだし、と。ということで空いている店を探してめんだらけ内を一周。したらどこも満席じゃないですか。まったく。かといってもう「しばらく」は長蛇の列ですよ。ぐわっ!どうせ並ぶ

なら好きな味噌味のある札幌ラーメンにしよう、そんな軽い気持ちでしたよ。ところがですよ、そんな後ろ向きの、ひねくれて星をにらんだぼくの気持ちを一気に昂揚させてくれるお店があったんです。

そのお店が「山桜桃」なんです。

……前フリが長いですね。

で他のみんなはもう食べ終わってもまだ並んでましたから、20分以上並びましたかね、ようやく席に案内されました。まよわず「辛みそラーメン」を注文しましたよ。この段階でもまだ「天下一品」系のベクトルだったんですね。



ところが、運ばれてきたラーメンを見て、なぜか「きれいなあ」と思いましたね。この段階で私は「山桜桃」の魔法にかかっていたのかもしれませんが。

スープを口に運びました。熱くて辛いわけなんです。「じっくり味わいたい」と思う濃厚な味がしましたね。次にチャーシュー。チャーシューというより角煮といった感じの大きく厚いチャーシューが3つスープに潜っています。そして箸でつまんだとたん、とろけるようにほぐれていくんです。



スープに溶けてしまうのではないかと思うくらい、柔らかいんですよ。そして麺。麺は細く、そして細かく縮れています。この麺にほぐれたチャーシューとスープが絡んできます。一気に味わえるんです。混然として一体。何ともいえません。もうこうなるとネギだろうがナルトだろうがすべておいしく思えてくるから不思議ですね。

他のお客さんは上品にレンゲでスープを飲んでいるのに、私は両手でどんぶり掲げ最後の一滴までスープを飲み干しましたよ。できればどんぶりまでねぶりつきたいくらいでしたよ。いや、さすがにそれはできませんでしたが。

食べ終わったら大粒の汗をかいていました。大変満足いたしました。

GOOD 満点ですよ。

しかし。

私が席を立つ間際、隣に座っていたカップルの女性の方が、とても気になる発言をなさったのを聞いてしまいました。

「な、私の言ったとおりやろ。メニューの始めに書いてあるのが一番おいしいねんて」「店もな、自信のあるものから書くんやて」

そのカップルは、醤油味と味噌味を頼んで、お互いに食べ比べをしていたようです。メニューを見ると一番始めに「しょうゆ」次に「とんこつしお」そして「みそ」私の食べた「辛みそ」は4番目です。

そんな……、私が生まれて初めて旨と思ったラーメンが4番目だなんて。そんなバカな。たぶん値段順に書いただけですよ。でも「しょうゆ」と「みそ」は同じ780円。追い打ちをかけるようにパンフレットにもこう書いてあります。『味噌ラーメン王国・札幌の構図を崩した新札幌ラーメン』そして写真にもしょうゆラーメンが掲載されているのではないですか。つまりこの店は「みそ」より「しょうゆ」が自慢だと。「しょうゆ」を食べると言うことですか。

立ちかけた椅子に座り直して衝動的に醤油ラーメンを追加注文しようかとも思いましたが、さすがに他の取材陣を待たせている手前、そんなことはできませんでした。

出口にあるご当地麺博物館で山桜桃の3食セット（醤油・とんこつしお・味噌）と単品で辛みそラーメンを買いました。高かったです。単品は 530 円もしましたよ。しかもこれは麺とスープだけでチャーシューがついていないのです。高いですよ。

取材陣には「家族にも食べさせてやりたい」とか言いましたが、本当は自分がもう一度食べたかったのです。そしてカップルの女性が言った醤油味が本当に一番なのかを確かめたかったのです。

翌日さっそく家で作ってみましたよ。意気揚々とですよ。ドンブリを温めておけとかスープの元も暖めておけとか、麺のゆで汁とは別にスープのお湯を用意しろとか、麺が踊るくらい大きな鍋を用意しろとか、出前一丁では考えられないくらい細かい指示がありましたが、おいしいラーメンのためです、指示通り作りましたよ。



でも、ですよ。やっぱりお店の味とは全然違うものができてしまいました。なんといってもチャーシューがありません。残念です。530円もしたのに。

これなら、安いだけ中華三昧の方が・・・具があるだけ GooTa の方が・・・たくさん食べられる分だけ日本の幸せ麺の方が・・・マシかもしれませんね。

こうなったらもう一度行くしかない、ですよ。翌々日、一家を率いて行きましたよ。幸い少し並ぶ程度で席に着けました。他のお店が待ち時間0だったことを考えると、やはり山桜桃は麺だらけの中でも人気店なんですね。



辛みそラーメンとしょうゆラーメンを注文しました。辛みそ、やはりおいしいです。しょうゆラーメンは、豚骨スープに醤油味をつけたような、とてもこってりした味でした。たしかに癖になる味というやつでしょうね。

カップルの女性の発言の真偽はどうかというと、「そりゃ好みやろ」という結論になりました。たしかにふつうの醤油ラーメンに比べたらおいしいかもしれませんが、私は元々味噌味が好きなのでね。

ラーメン2杯(+ご飯)では少なかったため、とんこつおラーメンも追加しました。これが一番おとなしい味でした。辛みそラーメンで口の中がニンニクと味噌で汚染されている私には味がさっぱりわかりませんでした。三杯も食べるんなら始めに注文するメニューでありました(反省)。

いま原稿を書いている横のモニタにラーメン画像を大映ししているんですが、また食べたくなくなってきましたよ。この原稿を書き上げたらまた食べに行ってしまうかもしれません。いや書き上げる前に行ってしまうかも。

いったいどんな魔法をかけたんだ、山桜桃! って感じですね。